

学校関係者評価 報告書

評価日時：令和7年2月26日（水）9：00～12：00

評価委員

- 委員長 当校非常勤講師
- 委員 元副院長・看護部長、看護教育経験者
- 委員 卒業生、看護部長
- 委員 推薦指定校 高等学校校長

学校出席者：教育主事 教員

- 議事：1) 教育主事および教員より以下について説明
- ・昨年度の学校関係者評価を受けての取り組み
 - ・今後の課題等
- 2) 今後の課題等についての意見交換
- 3) 総評

【目標1】 国立病院機構及び地域に貢献できる優秀な人材の育成・確保

- ・改正カリキュラムの適正な3学年運営
- ・ICTやシミュレーターを活用したアセスメント力を強化
- ・権利擁護や事例展開にオンライン教材の活用
- ・デジタル化資料への移行
- ・ホームページとInstagramによる学校の情報発信
- ・今年度のNHO就職率及び県内就職率は80%以上

【目標2】 主体的に学ぶ力を育成できる教育実践力の向上及び教育環境の充実

- ・改正カリキュラムにおける実習到達度の評価と臨床との連携強化
- ・卒後1年目2年目への対面でのホームカミングデイ実施
- ・学生登下校管理・健康管理システム導入
- ・兵庫県へ養成所運営費補助金獲得への活動
- ・「ハラスメントの防止等に関する規程」「ハラスメント対策ガイドライン」を作成
- ・「学生の個人情報に関する規程」のR6年10月からの施行
- ・演習用の設備、備品の適宜更新
- ・教員の研究活動の推進（「国立病院総合医学会」4題、「医療」への論文投稿1題）

【目標3】 適切な安全管理の推進

- ・感染拡大等の問題はなかった。

【目標 4】働き方改革を踏まえた業務の改善

- ・超過勤務の減少、勤怠システムの導入、年休取得の増加

【総評】

○学生がここに所属しているという誇りが持てるような環境づくりを行って欲しい。そのためには、看護学校であるというシンボルがあると良い。また、学校独自のものを形作っていくことが重要である。学校が置かれている環境の良さや資源を上手く組み込んでいくことが大切である。そのようなプランで作っていけば学校の特徴が明確になってくる。

○講師会議についてカリキュラムについて説明し、講師会議を深く豊かなものにしてほしい。教育理念とのつながりにおいて看護学の位置づけや教育方法などについて具体的に説明してほしい。また、国家試験問題も考える力が求められているため、社会の変化を注意深く見て講義等に反映させることが重要である。

○カリキュラムについて学生に良い看護師像（イメージ）を見せることが重要である。討議の中で、先を見通せる・予測できる看護師になってほしいとの話があったことから、その像を教員が学生に見せることが大切である。教える教員が楽しそうにすることが大切である。

○教育理念から科目の位置づけ・関連科目を意識して講義することはとても重要である。各講義について、教員全員が教育理念からつなげて説明できるようにしておくことが重要である。

○看護師は人としての温かみを持っているかどうか重要である。姫路医療センターの看護師は十分に人としての温かみがあるため、（卒業生を輩出している）看護学校ではこれらができていると言える。さらに高めるために、ひとつは環境面を充実させることが重要である。ふたつは、教育理念に示されている人間性の育成について、カリキュラムの柱として明確にすることである。

○地域との密着、地域に根付いていることが一番の強みということについて、看護学校の中でも姫路市や姫路城について学ぶ機会があると良い。学生がそういったことを学んで実習に行くと、姫路市や姫路城について患者と話す機会となり、人と人とのふれあいに近づくのではないかと。病気のことばかりでなく、生活に関連する会話が弾むことも大切である。

○世界遺産をはじめ学校周囲には宝がたくさん存在する。学校に起きている出来事をチャンスと捉え、姫路医療センター附属看護学校の強みにしていくことが大切である。